

安全・確実なME機器操作 のための人材育成

医療機器操作強化ワーキング
【MEWG】

MEWG設立の背景

～平成18年度

OJT中心、指導者の経験と保有能力に依存
各部署のローカルルールが存在

平成19年度 7対1看護体制導入

新人看護師激増に伴い、看護部集合研修開始

平成20～22年度

ME機器関連インシデント報告者が3年目以上
ME機器関連インシデントの増加傾向あり

→全看護職員対象に標準化された研修の必要性

平成23年度 MEWG設立

MEWGの活動

輸液・シリンジポンプを安全かつ正確に操作できる 人材を育成

◇輸液・シリンジポンプの苦手意識や不安を軽減し、知識・技術・質を維持することが目標です。



輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

- ◇ 輸液・シリンジポンプの指導者育成研修を実施
- ◇ 輸液・シリンジポンプについての教育を目的に、e-learning(知識確認テスト)を実施



部署への支援

- ◇ 操作演習のサポートや指導方法のレクチャーを実施



輸液・シリンジポンプ操作の理解を深めるための啓発活動

- ◇ ポンプ使用中のインシデントの低減を図るためにインシデント分析を行い情報提供や教育ツールの見直し
- ◇ 啓発活動の一環として、広報誌(ニュースレター)を発行



輸液ポンプ・シリンジポンプを安全かつ正確に操作できる人材の育成

原則として看護職員全員が、

- ・ 当院における輸液ポンプ・シリンジポンプのインシデントの特徴が説明できる
- ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関する注意点が説明できる、特に過量投与に至る原因について理解している
- ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ使用に対する苦手意識・不安が軽減する
- ・ 看護職員の知識・技術の質を維持する

ニュースレター
インシデント情報提供

第9期指導者育成研修

第3期
指導者更新研修

eラーニング
学習

新人研修
(OJT)

令和5年度

組織的・継続的・体系的な取り組みの展開

◆組織的取り組み方略 1

輸液ポンプ・シリンジポンプに関する
教育支援ツールの見直しと活用

- ①チェックリスト
- ②e-learning

◆組織的取り組み方略 2

全看護職員に対し組織的・継続的な教育研修機会の提供
方法：各部署の指導者による部署内研修の開催

- ①輸液ポンプ・シリンジポンプに関する組織的取り組みの必要性の理解
- ②輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関する知識や技術の再確認や修得

令和5年度の現状と課題

- 輸液ポンプ・シリンジポンプ操作に関する教育は各部署の担当指導者による教育に一任している。
 - ⇒各部署により指導者数が異なっている
 - ⇒指導者の役割が浸透していない
 - ⇒ポンプに対する不安・苦手意識は続いている
 - ⇒各部署の指導者とMEWGメンバーとの関与が少ない
 - ⇒新・旧ポンプが混在している

令和5年度の具体的活動内容

1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

- 1) 新人看護職員研修(OJT)支援
- 2) 第9期指導者育成研修の企画・運営
- 3) 第3期指導者更新研修の企画・実施
- 4) 知識確認テストの実施(100点取得)

2. 部署への支援

3. 輸液・シリンジポンプ操作の理解を深めるための啓発活動

- 1) インシデントのデータ収集分析
- 2) 広報誌「MEWGニュースレター」の作成

1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

1) 新人看護職員研修(OJT)支援

- 集合研修ではなく、部署で実施している。
- 部署の輸液・シリンジポンプ指導者が部署の特徴を踏まえ、部署内研修計画を立案し、実施した。
- WGメンバーは部署サポート担当を決め、支援体制を整えた。
- 輸液・シリンジポンプ指導者は研修を実施することで自己の知識の再確認の機会となっていた。



1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

2) 第9期指導者育成研修

日時: 令和6年2月2日 13:00~16:00

対象: 第9期 輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者 37名

【研修内容】

事前学習 「指導者の役割」講義動画視聴

講義

- ①輸液・シリンジポンプの安全な取り扱い
- ②輸液・シリンジポンプに関連したインシデント
- ③部署内研修計画について

演習

輸液・シリンジポンプの正しい使い方と指導方法

1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

3) 第3期指導者更新研修

日時: 令和5年6月16日～6月29日

対象: 第3期 輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者 17名

【研修内容】

ナーシング・スキルによる下記の2つの動画を視聴し、自部署における指導者としての今後の課題を記載した。

- ① 輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者の役割
- ② 輸液ポンプ・シリンジポンプに関連したインシデント

1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

4) 知識確認テストの実施

- 輸液・シリンジポンプに関する正確な知識の補填を目的にeラーニングを活用した学習支援を行った。
- 輸液ポンプ・シリンジポンプに関するインシデントの状況や看護職員の部署異動の状況を踏まえ、院内の看護職員全員が正しい知識を持ち、輸液ポンプ・シリンジポンプを取り扱うことができるよう全部署の看護職員へ対象を拡大した。
- 令和5年11月に知識確認テスト(25問)を実施し、対象者全員が100点を取得した。

2. 部署への支援

- 部署サポート担当のWGメンバーが担当部署を決めて、活動を行った。
- 教育WG担当者に部署サポート担当者を紹介し、支援体制を整えた。
- 今年度は、サポート依頼はなかったが、各部署の指導者の活動状況については部署内研修実施報告書等で把握した。
- 指導者の活動評価を踏まえ、次年度のサポート体制を検討していく。

3. 輸液・シリンジポンプ操作の理解を深めるための 啓発活動

1) インシデントデータ集計分析

- 輸液・シリンジポンプ使用下で起こった内容を抽出している。
- インシデント内容や原因を分析することにより、ポンプ操作の注意点だけでなく、操作以外で起こりやすい状況等を把握し、指導者への情報提供、ニュースレターでの注意喚起等を行っている。

3. 輸液・シリンジポンプ操作の理解を深めるための 啓発活動

2) 広報誌「MEWGニュースレター」発行

- 輸液・シリンジポンプに関する知識の向上・管理方法の習得や、輸液・シリンジポンプに関するインシデントの注意喚起を目的にニュースレターの発行を行っている。
- 今年度は、昨年度から続くインシデント内容を踏まえ、輸液ポンプ・シリンジポンプ使用上の注意点について掲載した。

まとめ

- 輸液・シリンジポンプを安全かつ正確に操作できる人材を育成するため、指導者研修、更新研修を計画・運営した。
- 輸液ポンプ・シリンジポンプ操作の理解を深めるため、インシデント事例を分析したうえでニュースレターを発行し啓発活動を行った。
- 部署サポートとして各部署との密な情報共有方法の構築を行い、指導者が困ったときにいつでも相談できるようサポート体制を強化していく。
- 今後も、輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いについて、看護職員全員が正しい知識を持ち安全管理に取り組めるよう活動していく。